

高校生サイエンス研究発表会 in 第一薬科大学にて発表

2年生数理探究科の3班（7名）が、SS探究ⅡAでの探究成果を、高校生サイエンス研究発表会 in 第一薬科大学（主催：第一薬科大学）にて発表しました。この大会は、高校生のプレゼンテーション能力の向上と研究・開発への意欲を高めることを目的としたものです。今回は127チームがZoom等を利用して、日頃の研究成果を発表しました。

田中さん、石川さんの2人は今回の発表がはじめての対外発表でした。最初はかなり緊張したとのことですが、今の研究を深め、もう一度外部発表をしたいと、大変意欲的な感想を述べていました。芝原さん、松崎さん、立石さんの研究に対しては、アドバイスに加えて審査員の先生が所属する大学施設の活用についての提案をいただきました。青木さん、古賀さんの2人は、質疑応答を通じて研究の方向性を確認することができたとのことでした。

3班とも今回の経験をこれからの探究活動に活かしてほしいと思います。今年度の対外発表は理科部や数理探究科が中心でしたが、普通科・家政科の皆さんも積極的な発表を通じ、飛躍のきっかけにしてください。

発表題目	発表者
ケイソウ化石の同定と採集地点の関係と環境の推定	田中 雅・石川 満月
オオキンケイギクの生態	芝原 万智・松崎 美海・立石有気
多良山系の河川水中に含まれる塩化物イオンについて	青木 嘉志乃・古賀 千尋

